

駒木会報

第14号

発行日：平成26年9月30日
発行：江戸川大学駒木会
所 在：千葉県流山市駒木474
電 話：04-7152-0661

ホームカミング・デー 子どもコミュニケーションフォーラムを開催

語る力の発達～言語文法と癡呆の増加

「おじいちゃん」「おじやん」
読み、文字の両面的認知を育成する
文法は3歳ごろまでに
痴呆文法は5歳後半～

- ◆事件・出来事を語る
1起承(転)構造造
2常套句・常套の演出技法



発達心理学、認知心理学の分野から子ども番組開発等にも携わる内田伸子先生の講演会の様子。
乳児や幼児を持つ、お父さんお母さん世代が多い中、孫を持つ祖父母世代もご来場されました。



講演会終了後には子育て相談会を実施。普段なかなか聞けない子育ての疑問に答えていただきました。



絵本作家・板絵画家で子ども番組のキャラクター制作もされている有賀忍先生を講師に招いて、子ども達といろいろな工作をしている様子。



有賀先生が子ども達に工作の楽しさを知つてもらおうと大奮闘。
大学生も手伝つて子ども達は大はしゃぎで、まわりにいるお父さんお母さんは思わず苦笑。



大学生が覆面仮面に変身。
子ども達ははしゃいでいるが、中には泣き出す子も。

講演会とワークショップを開催

平成25年11月3日(日)、江戸川大学にて「子どもコミュニケーションフォーラム」を開催しました。

午前中は、B棟メモリアルホールに言語発達や認知発達の研究者である内田伸子先生(御茶ノ水女子大学名誉教授)をお招きし、講演会「子どもの創造的想像力を育む」を行いました。

講演会では、小さいお子さんをお持ちの保護者を対象に、子どもの主体性を大切に

した「子どもの創造的想像力」を伸ばすための関わり方を、わかりやすくお話して下さいました。会場では地域の方々をはじめ、教職員・在学生・卒業生が熱心に聴講し大変好評でした。

午後はB棟メモリアルホール前のスペースを使い、絵本作家・板絵画家の有賀忍先生(子どもコミュニケーション学科客員教授)による「創造的造形遊び『覆面仮面で大変身!』」を行いました。

このワークショップは、3歳から小学校2年生を対象に、楽しみながら創造性を育むため、様々な素材に触れさせ体験させることが狙いです。子ども達が折り紙を使って切ったり、貼ったりしながら仮面を制作し、完成した物で遊びました。2時間に渡り子ども達が楽しく遊んでおおいに盛り上りました。

このイベントは、平成26年4月に新設された、子どもコミュニケーション学科を応援する形となり、学科の順調なスタートに繋がりました。

大学近況

●子どもコミュニケーション学科誕生

この4月、江戸川大学に新しい学科・子どもコミュニケーション学科が誕生しました。この学科のカリキュラムでは、東葛地域の男女共学の大学では初となる保育士資格と幼稚園教諭一種免許状が取得できます。また隣接のえどがわ森の保育園等とも連携し、これらにおけるボランティア活動等、体験実習を積極的に取り入れていくことです。

●取手に小学校誕生

また、同じく4月に江戸川大学園取手小学校が誕生しました。従来からある中学校・高校とあわせ、茨城県としては初の小中高一貫校として今後の発展が期待されます。

●江戸大が映画やTVドラマのロケ地に

今年1月公開の「トリック劇場版 ラストステージ」、5月公開の「百瀬、こっちを向いて。」、またテレビ東京で7月から放送された連続ドラマ「アオイホノオ」それぞれのロケ地として、江戸大が使われました。これらの映画/ドラマにはエキストラとして本学学生も多数参加しています。

●大リーガー・田中将大選手を招いての公開シンポジウム

1月26日、米・ニューヨークヤンキースへの入団が決まった直後の田中将大選手らを招いてのスポーツシンポジウムが行われました。『プロ野球の使命と役割』と題して行われたこのシンポジウムでは、パネリストとして他に大越英雄氏（元日本プロ野球組織セ・リーグ統括兼運営部長）、鷲田康氏（スポーツジャーナリスト）、それに江戸大の広岡勲准教授が

参加し、さまざまな意見が出されました。

なお、当日の詳細については

<http://www.edogawa-u.ac.jp/news/140129b.html> をご覧ください。

●松戸南高校と高大連携に関する協定を締結

2月25日、江戸大と松戸市の松戸南高校との間で高大連携に関する協定が締結されました。また、これを受けて5月からは早速、松戸南高校から生徒2名が「入学」し、キャンパスで学生たちに混じり、大学から貸与されたパソコンを使い、一部の講義を履修しています。

●オリンピック選手も多数輩出した伊藤博義先生が女子バレーボール部監督に就任
あの大山加奈選手、栗原恵選手も育てた伊藤博義先生が江戸大の女子バレーボール部の監督として就任しました。強化指定部としてリスタートした女子バレーボール部はこの春1年生7名が加入し、7部昇格に向け頑張っています。

●久保先生逝去

去る平成25年10月10日、江戸川大学名誉教授で、駒木会の設立、運営にも多大な協力をいただきました久保悌二郎先生がすい臓がんのため、亡くなりました。先生は大学退職後は故郷・福井の豊田屋歌川について調べ、「遊女・豊田屋歌川 北前船で栄えた三国湊の女流俳人」(ISBN: 978-4895445467)という本を出版されていました。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

江戸川大学で英語を教えて15年…

メディアコミュニケーション学部

子どもコミュニケーション学科 教授 城一 道子



英語は苦手だと言う学生が、英語絵本を読む楽しさにはまっています。英語で絵本をとにかくたく

さん読もうという授業を始めて4年が経ちますが、学生は夢中で絵本を読み続けるうちに英語に対する抵抗感が薄れていいくようで、絵本の力を感じてきました。絵本は子どものための書物としてだけでなく、大人にも深い影響を与えることのできるメディアとしても価値の高いものです。大学生が絵本の魅力にはまるのも、シンプルで分かりやすい絵本のことばが心に届き、共感や感動を与えてくれるからでしょう。

絵本のことばは目で読むより声に出して読むほうが、気持ちが伝わることばです。4月に新設の子どもコミュニケーション学科に所属することになり、絵本の読み聞かせが上手にできる学生を育てる

ことになりました。読み聞かせは子どものことばを豊かにしますが、学生自身も読み聞かせをとおして、英語であれ、日本語であれ、自らのことばの力を伸ばすことができるのではないかと期待をしています。

江戸川大学で英語を教えて15年。レイチャル・カーソンは、教育において「知ることよりも「感じる」とことのほうがずっと大切であると言っていますが、ことばの力を育てるのも同じことが言えるような気がします。英語ということばをどのように教えるかということは、いつになんでも難題ですが、教えるというより教えられ、今日に至っていることを心から幸せに思っています。

大学生活を通して得たもの

社会学部経営社会学科

第18期卒業生 鎌田 祐樹

私は現在都内で金融関係の会社に入社し4年目が経過しようとしています。

現在はシステム開発を中心とした部署に配属され、提携加盟店に関わる業務をこなしています。

学生生活で学んだことを生かせているかと言えば、全くの畠違いでゼロからのスタートであったため、当初は分からないことも多く、沢山迷惑をかけていたと言うのがあります。

ですが、現在はそれなりに理解をすることがで

き、仕事への対応がスムーズにこなせるようになったかと実感できています。

大学生活では学園祭実行委員の会計局長、クラブ幹事会の幹事長など、多くの経験をさせていただきました。最初、学園祭に関わることになったのも元々、サークルを通してお世話になっていた先輩の手伝い感覚でしたが、会計という職務は何より地味で、日の当たるところでは無いですが、運営に掛かる費用を考え、先を見通し予算を組み立て、予算通りの収支を達成するために各局長と連携し、学園祭を運用するための相談役として、業者さんとの交渉などを対応していました。同時にクラブ幹事会の幹事長を兼ねていたことで学園祭のサークルの代表とも連携できていたことが大き

い部分もあったかと思います。

このような経験をさせてくれたのは当時学務課の宮川さんからの話が無ければ決して経験できなかつたことだと思っています。また、当時の学園祭に携わってくれた多くの局員、ゼミの大江田教授、部活・サークルの各代表者のフォローがあつたお陰で無事に達成できたと今でも思います。

大学で得たもの、それは臆することなく何でもやってみること、関わってくれた人への感謝を常に考えて行動すること。それを植えつけてくれた大学生活を支えてくれた多くの方々のお陰で今の自分がいる。それは社会人となった今でも実感するようなかけがえのない貴重な時間を過ごせたことに感謝しています。

ハードルを越えて

メディアコミュニケーション学部

マス・コミュニケーション学科

第21期卒業生 長田 史

高校時代、勉強も部活も「ある程度できればいいだろう」と思っていた。所属していた放送部で関東大会に進んだ仲間を祝った時「才能がある人だから」と、県大会で終わった自分を納得させた。高

校時代まで私が乗り越えてきたハードルは、少し努力すれば誰もが越えられるような高さで、それよりももっと高い、才能がある人にしか飛べないようなハードルには、向き合おうともしなかった。

大学に入って様々な活動の中で、目標に向かつて行く先輩や同期を見た時、彼らに追いつくはどうすればいいのかと考えるようになり、初めて、真剣に自分自身や目標に向き合おうと思えた。そうして気が付いたら、今まで経験したことのない高さのハードルが目の前に迫っていた。何度も諦

めようと思ったが、先生方、友人、様々な人の助けがあったから乗り越えることができた。江戸大での私はひたすら悩んで、ハードルにぶつかりながらも「逃げずに、とにかくやってみる」という気持ちを生み出して、高校時代のどこか諦めていた自分から成長できたと思う。

縁あって4月から江戸川大学の職員として働くことになり、昔の私と同じように悩む後輩達のサポートをしながら、その成長を見守っていけたらなと思う。

駒木会活動報告(平成25年6月～平成26年6月)

駒木会では2ヶ月に1回程度、理事会・評議員会を開催したほか、下記の通り活動を行いました。

平成25年

- 6月 平成26年度予算案の審議
- 6月～9月 ホームカミング・デーについて議論
- 10月 駒木会報を送付
ホームカミング・デー及び総会について最終調整
当日スケジュールの確認
- 11月3日 ホームカミング・デーを実施
詳しくは今号の記事をご覧下さい

平成26年

- 2月～ 住所追跡事業、情報発信事業の実施について議論
- 3月15日 駒木会会长が卒業式に出席
- 3月16日 卒業記念パーティーにて駒木会PR活動を実施
- 4月3日 駒木会会长が入学式に出席
- 5月～ 平成26年度ホームカミング・デー イベント等について議論
- 6月 平成27年度予算の審議

この他にもTwitter、facebook、ブログの更新での情報発信をしています。

駒木会活動方針

会員同士のつながり「卒業生ネットワーク強化」をキーワードとして、下記に重点をおいて活動してまいります。

【卒業生の住所追跡事業】

駒木会活動のすべてのベースである卒業生の住所追跡事業を今年度も継続的にと考えております。

それとともに、大学との連携を密にとり卒業生の勤務先情報の収集を行ってまいります。

【ホームカミング・デーイベント】

「つながり」を意識しホームカミング・デーを開催してまいります。会員の皆様と母校のつながりはもちろん、会員同士の親睦をはかる場を提供したいと考えております。

平成26年度は例年どおり「交流パーティー」を開催するとともに、W杯イヤーということもあり「サッカー関係」をテーマとしたイベントを計画しております。

【情報発信機能の強化】

会報などの紙媒体だけではなく速報性のあるWebでの情報発信を積極的に進めるとともに、会報の到着率向上を目指してまいります。

【卒業生参加の推進】

現在執行部のみで行っている活動（例えば会報制作など）についても、より多くの皆様に参加していただけるようにしたいと考えております。

駒木会執行部役員

平成26年5月17日付で江戸川大学駒木会の執行部役員は下記の通りとなりました。任期はすべて平成29年3月31日までです。

役職	氏名	卒業時期	学科
会長	関沼 洋平	第12期	マス・コミュニケーション学科
副会長	小川 誠一	第13期	マス・コミュニケーション学科
	金田 千秋	第19期	ライフデザイン学科
事務局長	大中 二郎	第3期	応用社会学科
理事	野口	第6期	応用社会学科
	渕	第11期	マス・コミュニケーション学科
	大久保	第17期	情報文化学科
	葉山	第19期	ライフデザイン学科
監事	宮崎	第7期	マス・コミュニケーション学科
	林	第9期	マス・コミュニケーション学科

平成25年度 江戸川大学駒木会収支報告

平成26年3月31日

【前年度繰越金】

合計	¥ 58,074,248
----	--------------

【収入の部】

第21期生分校友会費	¥ 13,020,000	終身420
校友会費終身・5年会費)	¥ 122,000	終身3<継続1>5ヶ年6<継続6>
寄付等雑収入	¥ 8,000	
利息	¥ 9,135	
合計	¥ 13,159,135	

【支出の部】

同窓会報および 総会案内制作発送費	¥ 737,001
ホームカミング・デー開催費	¥ 784,420
学園祭パンフレット広告費	¥ 30,000
交通費・通信費・消耗品費	¥ 31,829
合計	¥ 1,583,250

【翌年度繰越金】

平成26年度繰越金	¥ 69,650,133	【前年度繰越金】+【収入】-【支出】
-----------	--------------	--------------------

平成27年度予算案

品目	金額
同窓会報および総会案内制作発送費	¥ 1,300,000
ホームカミング・デー開催費	¥ 1,500,000
学園祭パンフレット広告費	¥ 50,000
交通費・通信費・消耗品費	¥ 200,000
住所追跡事業費	¥ 500,000
情報発信強化費	¥ 500,000
合計	¥ 4,050,000

Webサイトリニューアルのお知らせ

情報発信機能強化の一環として、この度Webサイトのリニューアルを行いました。

これに伴い、URLが以下のとおり変更となります。

<http://komakikai.jp>

駒木会ではこれからもより良いサイト作りを目指して取り組んでまいりますので、ご意見・ご感想などありましたら駒木会事務局までお寄せください。

子女割＆きょうだい割のご紹介

平成26年度以降の入学者を対象に、江戸川大学の建学の精神を継承することを目的とした学費等の減免制度があります。

■子女割…

対象： 卒業生の子女で、江戸川大学の1年次入学者。

免除額： 入学金(32万円)を全額免除。授業料、施設設備費、維持費および実験・実習費の納付年額の半額(55万円)を入学後4年間免除します。

■きょうだい割…

対象： 江戸川大学在学生・卒業生の兄弟姉妹で、江戸川大学の1年次入学者。

免除額： 入学金(32万円)を全額免除。授業料の納付年額の半額(34万円)を入学後4年間免除します。

詳細は入学課(0120-440-661)までお問い合わせください。

ミニ同窓会レポート

今回は新井ゼミ卒業生の方から写真を頂きました!!



●レポートや同窓会情報を募集中!!

ゼミやサークルのメンバーでちょっとした飲み会をしたら、ぜひ写真を添えてコメントをお寄せください。本コーナーで紹介させて頂きます。

また、開催情報を掲載することもできます。なかなかメンバーと連絡が取れずお困りの幹事様。ぜひ本コーナーを有効活用してみてください。会報だけでなくブログ掲載やTwitterでの呼びかけなども対応可能です。

お気軽に駒木会事務局までお問い合わせください。

住所変更などの手続きはお忘れなく

次のような場合は同封のはがき又は、駒木会Webサイトの所定のフォームをご利用の上、下記連絡先へ変更手続きをお願いいたします。

- ・住所の変更(市町村合併を含む)
- ・会報が届かない
- ・結婚等で氏名が変わった

また、住所に変更が無いにもかかわらず会報が届かないという方は、登録情報を確認・修正させて頂きますので、お問い合わせください。

●編集後記

江戸川大学を卒業して3年。卒業後1年目は、「仕事が忙しい」と理由をつけて、友人と会う機会をあまり設けていませんでした。そんな折、友人から中学校の恩師が定年を迎えると連絡をもらい、お祝いの会で旧友たちと再会。他にも、出産した同級生に会いに行ったりと生身のやり取りをしました。懐かしく、それでいて新鮮な気持ちになりました。

昨年のホームカミングデーでは、人と人が交流する簡単なゲームを実施。参加者から、話したことの無い人と話せて面白かったと声をいただき、とても嬉しかったです。新旧問わず、つながりを持てるのは同窓会ならではかも知れません。これからも、教職員や先輩後輩など立場を超えたつながりをつくれる場を提供していきたいと思います。

最後に、会報第14号の執筆に携わっていただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。(C・K)

会費納入のお願い

駒木会の運営は、皆様の会費によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

会費納入については、永年会費か5ヶ年会費、ご都合の良い方をお選びいただけます。なお、平成22年度入学者以降は学納金と同時徴収のため永年会費納入済みとなります。

永年会費：¥30,000 (今後会費納入の必要は一切ございません)

5ヶ年会費：¥5,000

※初回納入の場合、別途入会金¥1,000

また、寄付も受け付けております。

納入につきましては、払込取扱票に以下の項目をご記入のうえ、ゆうちょ銀行へご納入ください。

払込取扱票記入事項

■口座番号:00110-3-67407

■加入者名:江戸川大学駒木会

■金額:納入金の総額

■通信欄:納入金内訳(永年会費・5ヶ年会費・寄付金)

卒業生ご本人の現在のお名前と住所、在学当時の学籍番号
(会報送付封筒に記載しております)

■支払住所氏名:会費をご納入された方のお名前と住所

お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

駒木会の活動に参加してみませんか?

駒木会では役員はもちろん、活動に参加・サポートしていただける方を募集しています。例えば、会報制作などメールのやり取りだけで出来る事や、ホームカミング・デー当日だけのスタッフでも大歓迎です。

詳しい内容はメールでご案内いたしますので、駒木会事務局までお問い合わせください。また、ホームカミング・デー当日にスタッフへ直接おたずねいただいてもOKです。

皆様の参加を心からお待ちしております。



●駒木会への連絡先

■メールアドレス komaki@edogawa-u.ac.jp

■郵便 〒270-0198 千葉県流山市駒木474
江戸川大学駒木会事務局

■電話 04-7152-0661(江戸川大学代表)
駒木会事務局 大中(おおなか)

最新情報は[こちら](#)で配信しています。どうぞご覧ください。

■Webサイト <http://komakikai.jp/>

■みんなのブログ <http://ameblo.jp/komakikai/>

■facebook <http://www.facebook.com/EdogawaUniv.Komaki>

■Twitter http://twitter.com/komaki_kai/